

ISO/IEC/JIS Plastics

事務局便り 2009年4月

ISO/TC61(プラスチック)/SC11(製品)の最近の動向

ISO/TC61/SC11はプラスチック製品に係る規格を担当し、Pメンバー22カ国およびOメンバー16カ国から構成され、2009年3月現在で88件の発行済み規格と7件の開発中規格を持っている。

ISO/TC61/SC11は、国際議長ならびに国際幹事は日本が務め、開発中の7件の規格のうち3件は日本の提案によるものであり、日本は継続して高い寄与を続けている。さらに、2件は韓国およびインドの提案であり、日本を含めたアジアの比重が非常に高い。

SC11の構成は次の通り。

TC 61/SC 11/WG 2: Decorative laminate and solid surfacing materials

TC 61/SC 11/WG 3: Plastics films and sheeting

TC 61/SC 11/WG 5: Polymeric adhesives

TC 61/SC 11/WG 6: Poly(methyl methacrylate) sheets

TC 61/SC 11/WG 7: Polycarbonates sheets

TC 61/SC 11/WG 8: Unplasticized poly(vinyl chloride) sheets

ここでは、日本を含めたアジア提案のプロジェクトの進捗を中心に報告する。

1. 主なプロジェクトの進捗状況

ISO/AWI 12856, Plastic railway sleepers (鉄道用プラスチックまくらぎ)

この規格は、JIS E 1203:2007, "合成まくらぎ"を基にして、新規提案したもので、2007年のインド・ゴア国際会議での予備提案を経て、2008年に新規提案として承認された。プラスチックまくらぎは、木まくらぎ代替として、橋梁や分岐部分に使用され、新幹線では25年の実績をもつ。木まくらぎに比べて長寿命等の特徴をもち、国内はもとより、中国やオーストリアでも採用されている。現在のSC11傘下のWGの守備範囲にない規格のため、今後新しくWG9を立ち上げ開発が進められる予定。

ISO/DIS 26842-1, Adhesives -- Test methods for the evaluation and selection of adhesives for indoor wood products -- Part 1: Resistance to delamination in non-severe environments (室内木製品用接着剤の評価および選択のための試験方法—第1部:通常環境下での耐層間剥離性)

ISO/DIS 26842-2, Adhesives -- Test methods for the evaluation and selection of adhesives for indoor wood products -- Part 2: Resistance to delamination in non-severe environments (室内木製品用接着剤の評価および選択のための試験方法—第2部:厳しい環境下での耐層間剥離性)

この2件の日本提案は、ISO/FDIS 26842, Adhesives - Standard of Environmental performance - Guidelines for adhesive propertiesとして投票にかけられたものであるが、FDIS段階で欧州勢が反対し、承認されなかった。既に欧州で広く使われている接着剤の耐久性を分類する規格 EN 204: Classification of thermoplastic wood adhesives for non-structural applications(非構造接着剤用熱か組成木材接着剤の分類)と競合し、対応もしないというのが理由である。しかし、内容的には日本提案は温度および湿度の異なる環境に暴露した際の、製品外観の指標となる層間剥離を評価し、分類するのに対して、EN 204では、水

中浸せき暴露後の、せん断接着強度を基に接着剤を分類する点で、全く違う規格であることから、再度 FDIS 投票にかけることとなった。

ISO/DIS 25179, Adhesives – Determination of the solubility of water-soluble or alkali-soluble pressure-sensitive adhesives (接着剤—粘着剤の水溶性またはアルカリ水溶性の求め方)

韓国の提案であり、粘着剤の水溶性またはアルカリ水溶液溶解性を測定する事によって、粘着剤塗布製品のリサイクルの可能性を判断しようとするもの。

ISO/WD 13106, Blow-moulded polypropylene containers for packaging of liquid foodstuffs (液状食品包装用のブロー成形ポリプロピレン容器)

H20 年の国際会議でインドから新規提案し、新規プロジェクトとして登録された案件である。

2. 国際規格発行

2008 年は、以下3つの規格が国際規格として登録された。

ISO 23560, Woven polypropylene sacks for bulk packaging of foodstuffs

ISO 15106-4, Plastics – Film and sheeting – Determination of water vapour transmission rate – Part 4: Gas-chromatographic detection sensor method

ISO 19712-1, Plastics – Decorative solid surfacing materials – Part 1: Classification and specifications

以上